

1. 申請者情報

都道府県名	愛知県	市区町村等名	豊田市	地方公共団体コード	23211
-------	-----	--------	-----	-----------	-------

2. 交付対象事業の名称等

単独／広域 ／広域リー ジョン	交付対象事業の名称														
単独	豊田市猿投棒の手ふれあい広場リニューアルによる地域活性化事業														
主となる事業分野 (入力必須)	事業分野 (大項目)		地域産業支援関連事業		事業分野 (詳細)		地場産業の付加価値向上や販路開拓等を支援し、地域経済の維持及び拡大を目指す取組及びこれに関連する周辺の取組			事業分野	○				
ソフト事業実施期間	2026	年	4	月	1	日	から	2029	年	3	月	31	日	まで	} 入力必須 (実施事業のみ)
拠点整備事業実施期間	2026	年	6	月	1	日	から	2027	年	3	月	31	日	まで	
インフラ整備事業実施期間		年		月		日	から		年		月		日	まで	

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共 団体コード	【ソフト事業】 対象事業経費	【ソフト事業】 申請額(左記の1/2)	【拠点整備事業】 対象事業経費	【拠点整備事業】 申請額(左記の1/2)	【インフラ整備事業】 対象事業経費	【インフラ整備事業】 申請額
1	愛知県	豊田市	23211	5,325千円	2,662千円	101,326千円	50,663千円		
計				5,325千円	2,662千円	101,326千円	50,663千円	0千円	0千円

3. 交付対象事業の背景・概要

A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)

【背景】

本市の人口は、2008年のリーマンショック以降、約42万人を横ばいで推移してきたが、2019年をピークに減少に転じている。国立社会保障・人口問題研究所の2023年推計によれば、2050年には約37万人とすることが予測されている。本市の人口動態のうち、自然動態は、これまで自然増加で推移してきたが、2021年から自然減少に転じている。晩婚化・未婚化の進行を踏まえると、出生数の更なる減少が予測され、自然減少が進展し、まちの活力維持が困難になるリスクが想定される。また、地域資源である文化財においても少子高齢化等による消滅が危惧されているため、まちづくりや観光資源として活用するなど、地域住民だけではなく文化財を守る関係人口を創出する必要がある。

豊田市猿投棒の手ふれあい広場(※)がある猿投町においても、人口は2021年に722人だったが、2026年には656人と5年間で10%減少している。また、地域内には指定文化財が19件(国:9件、県:7件、市:3件)存在している。

※【主な施設】豊田市棒の手会館、ふれあいホール、運動広場

【将来像】

開館40周年を契機に豊田市棒の手会館の展示をリニューアルし、施設としての魅力を向上させ利用者の増加を図る。本施設を地域資源のゲートウェイ(玄関口)と位置付け、旧龍性院庭園や猿投神社など地域資源への回遊を促すことで、単なる通過点から「巡る楽しみ」のある地域へと変革し、歴史への深い理解を促す。市民の誇りの醸成や観光客の関心を高め、市外からも地域資源の「守り手」となる関係人口を育むことで、人口吸引力の維持と文化財の持続的な継承を図る。

B. 地方創生の実現における構造的な課題

① 施設機能の陳腐化と魅力の欠如

- 棒の手会館の展示が長期にわたり更新されておらず、再訪動機が創出できていない。特に若年層や観光客を惹きつける誘客力のある施設とするためには、「単に資料を見るだけの展示」から「体験型展示」への転換が必要である。

② 「通過点」からの脱却と回遊性の不足

- 猿投地区内には貴重な地域資源が点在しているものの、施設からの情報発信や誘導動線が不十分であり、面的広がりを生み出せていない。
- 猿投山の登山客は急増(R5:約7.6万人 → R6:約12万人)しており、施設駐車場が利用されている一方で、施設への入館には結びついていない。

③ 文化財の埋没と保存主体の脆弱化

- 国指定「旧龍性院庭園」を含め地区内の地域資源の認知度が低く、活用も限定的である。
- 地域の高齢化に伴い、伝統文化や文化財を支える人員が減少している。地域住民のみならず、市外からのファン(関係人口)を「守り手」として巻き込む新たな育成・関与スキームが不可欠である。

C. 交付対象事業の概要

(交付対象事業がどのように構造的な課題の解決に寄与するのか分かるように記載すること。)

① 展示リニューアルによる拠点機能の強化

棒の手会館の体験型展示導入: 棒の手会館の展示内容を全面的に刷新し、デジタル技術を活用した体験型展示を導入することで、伝統芸能を身近に楽しく学べる展示へと刷新する。

② 回遊・情報発信の最適化による「面」的な回遊促進

地域資源のゲートウェイ化: 棒の手会館を地域資源への玄関口として位置付け、棒の手と関連の深い猿投神社や旧龍性院庭園などへの回遊を促す。また、駐車場から会館入口への動線を改善することで登山客を館内へと誘導する。

デジタル観光アプリ(SpotTour)の導入: 急増する猿投山の登山客等をターゲットに、アプリによる特典付きのデジタルスタンプラリーの開催や実際に訪れないと見られないコンテンツ(限定情報)などを活用し、面的な回遊を促進する。点在する地域資源を線で結ぶことで、単なる通過点から「巡る楽しみ」のある地域へと変革させ、来訪者に歴史への深い理解を促す。また、地域資源の解説看板にQRコードを追加するなど、棒の手会館での猿投の歴史紹介をPRすることで、施設と地域資源の双方向からの誘客を図る。

③ イベント・文化財保全による関係人口の創出

次世代への継承と郷土愛の醸成: リニューアルイベントとして、県内保存会が集結する「(仮)棒の手演技大会」を開催する。晴れ舞台を創出することで、周知拡大とシビックプライドの育成を図る。

「守り手」としての関係人口の育成: 令和9年度に用地取得予定の旧龍性院庭園において、見学会や環境整備作業を開催する。地元住民のみならず、市外からの協力者を含めた文化財を守る担い手(関係人口)を創出し、保存主体の強化を目指す。

【ソフト事業経費】

1. リニューアルオープンイベント 4,000千円(令和8年度)

2. プロモーション 1,275千円(令和8年度)

3. 地域資源への回遊事業 50千円(令和8年度)、350千円(令和9年度)、350千円(令和10年度)

4. 旧龍性院庭園での関係人口創出事業 600千円(令和9年度)、400千円(令和10年度)

【拠点整備事業経費】

1. 豊田市棒の手会館リニューアル 101,326千円(令和8年度)

棒の手の展示リニューアル(棒の手のバーチャル体験などの導入)、地域資源の情報発信ブースの新設、防犯カメラの設置

D. 事業分野(大項目)のいずれかを選択した理由 (地域未来戦略における3分類(戦略産業クラスター関連事業／地域産業クラスター関連事業／地域産業支援関連事業)との関連性)

本事業は、地域固有の文化資源を核とした交流を促進し、地域全体の活力維持と持続可能な環境づくりを目指す取組である。

体験型展示により施設の魅力を高め、登山客等の来訪者を地域資源へ幅広く誘導することで、地域資源の有効活用と地域内の回遊性を向上させる。この回遊促進は、単なる通過を滞りへと変え、地域資源の認知度向上や関連する諸産業の活性化を支える基盤となる。また、イベントや庭園整備を通じて市外からも「守り手」となる関係人口を育むことで、地域の人口吸引力を維持する。これらにより、文化財の保存と地域の活力が互いを高め合う、循環型の地域づくりに寄与する事業であるため。

4. 優先採択テーマへの該当

優先採択テーマ	申請なし
---------	------

5. 他政策・施策等との連携状況

<中心市街地活性化に係る事業>

概要	
----	--

<特区制度を活用した、又は活用しようとする事業>

特例措置活用		提案		事前相談	
特例措置・提案・事前相談名					
特区指定・認定		特区種別①		特区種別②	特区種別③
概要					

<対日直接投資の誘致を支援する取組につながる事業>

概要	
----	--

<地域のデジタル人材への教育のための事業>

概要	
----	--

<スタートアップ支援に係る取組>

概要	
----	--

連携する取組			所管省庁への 事前相談	
主務大臣による認定を受けた政策・施策間連携に関する事業計画の名称				
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、個別事業者への支援が含まれる場合のみ記載	基本計画に適合するとして承認された地域経済牽引事業計画の名称			
	主務大臣の承認を得られた連携支援計画の名称			
地域未来投資促進法の「基本計画」に明記される事業のうち、設備投資等の支援を行う場合のみ経済波及効果を記載				

(1)	ソフト事業及び拠点整備事業において、他の国庫補助金等の対象となる部分や特別交付税等の他の財政上の支援を受けている経費を除外しているか。	○
(2)	ソフト事業及び拠点整備事業において、従前から一般財源により実施されている事業経費や経常的な経費等の財源振替、地方公共団体が実施する福祉事業等、本来一般財源で措置すべき経費を除外しているか。	○
(3)	ソフト事業及び拠点整備事業において、提案、企画・立案に関するコンサルティング経費を除外しているか。	○

[illegible]

9. 自立性

取組内容
(事業を進めていく中で、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として継続していくことが可能となる事業であること。)

無料のデジタル観光アプリを活用することで大幅なランニングコストの増額はないため、事業の継続は可能だと考えている。

自主財源の種類		自主財源の内容						
【A】	一般財源(市費)	豊田市猿投棒の手ふれあい広場の指定管理料						
【B】	一般財源(市費)	本事業の経費						
【C】								
【D】								
【E】								
各年度における 自主財源見込額	事業開始前 (現時点)	2026年度 (1年目)	2027年度 (2年目)	2028年度 (3年目)	2029年度 (4年目)	2030年度 (5年目)	2031年度 (6年目)	
【A】	45,892千円	47,527千円	46,000千円	46,000千円	44,500千円			
【B】	0千円	51,326千円	475千円	375千円	0千円			
【C】								
【D】								
【E】								
合計	45,892千円	98,853千円	46,475千円	46,375千円	44,500千円	0千円	0千円	
交付対象事業経費		106,651千円	950千円	750千円	0千円	0千円		
うちソフト事業費		5,325千円	950千円	750千円	0千円	0千円		
うち拠点整備事業費		101,326千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
総事業費	45,892千円	152,178千円	610,942千円	187,748千円	44,500千円	0千円	0千円	

10. 地域の多様な主体の参画

地方公共団体名								
	分類	産	言	住民				
	主体名	指定管理者	地域ケーブルテレビ	豊田市棒の手保存会				
愛知県豊田市	主な役割、意見及び改善方策への反映	【役割】施設の指定管理者として、当該施設の管理運営を行う。利用者の増加につながる事業を実施する。 【意見・改善方策】運営に関する意見について、事業内容への反映に取り組む。	【役割】事業内容を周知する。 【意見・改善方策】PR方法を検討し実施する。	【役割】保存会及び地域住民の意見の吸い上げを行い情報提供する。 【意見・改善方策】利用者目線での施設等の利活用に関して意見する。また、棒の手の体験会や各地の祭りへ来てもらうための情報発信を検討し実施する。				

11. 交付対象事業の効果検証及び事業内容の見直しの方法、時期及び体制

地方公共団体名	外部組織による検証					
	検証時期			検証方法	外部組織の参画者	検証結果の公表方法
愛知県豊田市	毎年度	5	月	文化財保護審議会にて事業実績やKPI達成状況を報告する。施策の効果について検証して事業の見直しを行い、翌年度以降の施策及び予算に反映していく。	文化財保護審議会委員	市ホームページ

12. 地方版総合戦略の策定状況

地方公共団体名	地方版総合戦略の計画期間・基本目標																											
	現行の地方版総合戦略										次期地方版総合戦略																	
愛知県豊田市	2025	年	4	月	1	日	から	2030	年	3	月	31	日	まで		年		月		日	から		年		月		日	まで
	豊田市まち・ひと・しごと創生総合戦略2030 【基本目標2】人の流れ・にぎわい・地域への愛着づくり																											

13. 地域再生計画の名称等

地方公共団体名	地域再生計画の名称									
愛知県豊田市	第2期豊田市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画									
	地域再生計画の区域	愛知県豊田市全域								
	計画期間	地域再生計画の認定の日	から	2030	年	3	月	31	日	まで

2026.1.27

＜2026年度（1年目）＞

2026

年

4

T

1

豊田市棒の手会館をリニューアルし、伝統芸能を身近に楽しく学べる展示へと刷新するとともに地域資源への玄関口として位置付ける。また、リニューアルオープンを開催して施設を広く周知するとともに、地域資源への回遊を図るためデジタル観光アプリのコンテンツを作成する。

事業開始時期	事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2026 年 4 月	2027 年 3 月	2026 年 3 月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		5,325千円					
交付対象事業におけるソフト事業経費				要素事業数	3	計	5,325千円
1	プロモーション			関連するKPI	①、②、③、④		1,275千円
	展示リニューアルを周知し、来館者を増やす取組を行うもの。 ・広報物作成業務委託: 945千円(内訳: デザイン製作費、印刷費) ・雑誌掲載広告費: 330千円 契約見込み日: 令和8年9月						
2	リニューアルオープンイベント			関連するKPI	①、②、③、④		4,000千円
	県内約40団体によるリニューアルオープンイベントを開催し、リニューアルを周知するとともに、来館者を増やす取組を行うもの。 実施主体: 指定管理者 ・イベント開催経費(指定管理料内の事業費として): 4,000千円 報償費 570千円(市外棒の手保存会への謝礼など) 会場設営費 2,300千円 広告費 240千円 印刷費 110千円 手数料 400千円 輸送費 330千円 諸経費 50千円 契約見込み日: 令和8年4月1日						
3	地域資源への回遊事業			関連するKPI	①、②、③、④		50千円
	デジタル観光アプリを導入し、地域資源への訪問者を増やす取組を行うもの。 ・消耗品費: 50千円 契約見込み日: 令和8年9月						
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費				要素事業数		計	0千円
1				関連するKPI			

<2027年度(2年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		豊田市猿投棒の手ふれあい広場の施設整備する。また、デジタル観光アプリを活用して地域資源への回遊を増やすとともに、旧龍性院庭園を特別公開して関係人口の創出を図る。										
事業開始時期		事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③
2027 年 4 月		2028 年 3 月		2027 年 3 月		当初	年 月			年 月		
交付対象事業経費		950千円										
交付対象事業におけるソフト事業経費								要素事業数		2	計	850千円
1	地域資源への回遊事業							関連するKPI		①、②、③、 ④		350千円
	デジタル観光アプリを活用し、地域資源への訪問者を増やす取組を行うもの。 ・チラシ制作委託:300千円(内訳:デザイン製作費、印刷費) ・消耗品費:50千円											
2	旧龍性院庭園での関係人口創出事業							関連するKPI		①、②、③、 ④		500千円
	旧龍性院庭園への関心や理解を深められるように、保存のための取組や発掘調査の状況を説明する現地見学会等を開催する。 ・チラシ制作委託:300千円(内訳:デザイン製作費、印刷費) ・消耗品費:150千円 ・講師報償費:50千円											
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費								要素事業数		1	計	100千円
1	旧龍性院庭園での関係人口創出事業							関連するKPI		①、②、③、 ④		100千円
	旧龍性院庭園への関心や理解を深められるように、保存のための取組や発掘調査の状況を説明する現地見学会等を開催する。 ・看板など備品購入費:100千円											

<2028年度(3年目)> ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置付け		豊田市猿投棒の手ふれあい広場の施設整備する。また、デジタル観光アプリを活用して地域資源への回遊を増やすとともに、旧龍性院庭園を活用して関係人口を創出する。						
事業開始時期		事業終了時期	予算計上時期①	予算種別①	予算計上時期②	予算種別②	予算計上時期③	予算種別③
2028 年 4 月		2029 年 3 月	2028 年 3 月	当初	年 月		年 月	
交付対象事業経費		750千円						
交付対象事業におけるソフト事業経費					要素事業数	2	計	750千円
1	地域資源への回遊事業				関連するKPI	①、②、③、④		350千円
	デジタル観光アプリを活用し、地域資源への訪問者を増やす取組を行うもの。 ・チラシ制作委託：300千円（内訳：デザイン製作費、印刷費） ・消耗品費：50千円							
2	旧龍性院庭園での関係人口創出事業				関連するKPI	①、②、③、④		400千円
	旧龍性院庭園への関心や理解を深められるような講座を開催し、地域住民だけではなく文化財を守る関係人口を創出する。 ・チラシ制作委託：300千円（内訳：デザイン製作費、印刷費） ・消耗品費：50千円 ・講師報償費：50千円							
交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費					要素事業数		計	0千円
1					関連するKPI			

(別紙1-2) 拠点整備事業経費内訳

2026.1.27

1. 交付対象施設の概要

(1) 施設の名称及び場所

施設の名称	豊田市猿投棒の手ふれあい広場
施設の場所	愛知県豊田市猿投町別所23-1

(2-1) 施設の所有者

種類	地方公共団体	名称	愛知県、豊田市
出資比率	豊田市棒の手会館のみ市の所有で、土地及びその他施設は県の所有。県有財産無償貸付契約を結び、豊田市が指定管理で運営		

(2-2) 施設の整備主体

整備主体	豊田市
------	-----

(2-3) 民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有主体の場合 ※該当がある場合

該当	①	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有する施設等を地方公共団体や公共的団体等が整備する場合			
	②	民間事業者等(公共的団体等を除く)が所有し、かつ整備する施設等について、地方公共団体が整備費を補助する場合			
要件	地方自治法に基づく「公の施設」として位置付けられるか			「公の施設」としての 位置付け及び協定等 の締結の時期 (例)●年●月頃	
	(「公の施設」として位置付けられない場合) 協定等の締結により中長期的・安定的な施設運営を担保される か				
	「公の施設」として位置付けられない 理由				
	協定等の内容				

2. 事業計画期間及び施設の供用開始年度

施設整備等の事業計画期間 及び施設の供用開始年度	①事業計画期間(全体) ※その他の補助金等を用いて整備する部分も含めた全体期間								②事業計画期間(交付対象) ※拠点整備タイプの対象事業の実施期間								施設の 供用開始年度	
	2026	年	6	月	～	2027	年	3	月	2026	年	6	月	～	2027	年	3	月
「①全体」と「②交付対象」 の期間が異なる理由 ※①と②の終了時期が異なる場合のみ記載																		

3. 経費内訳

	2026年度 (1年目)	2027年度 (2年目)	2028年度 (3年目)	2029年度 (4年目)	2030年度 (5年目)	合計
交付対象事業経費【①】	101,326千円	0千円	0千円	0千円	0千円	101,326千円
交付対象事業における 建築物整備経費【②】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業における 設備整備・用地造成等 経費【③】	99,961千円	0千円	0千円	0千円	0千円	99,961千円
交付対象事業における 備品整備経費【④】	1,265千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,265千円
交付対象事業における 効果促進事業(ソフト事 業)経費【⑤】	100千円	0千円	0千円	0千円	0千円	100千円
交付対象事業における 備品整備経費比率 【④/①】	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
全体事業費	101,326千円	0千円	0千円	0千円	0千円	101,326千円
(2-3)⑧に該当する 場合の全体事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
(2-3)⑧に該当する 場合の交付対象事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

全事業期間における本年の位置付け				豊田市棒の手会館をリニューアルし、伝統芸能を身近に楽しく学べる展示へと刷新するとともに地域資源への玄関口として位置付ける。また、リニューアルオープンイベントを開催して施設を広く周知するとともに、地域資源への回遊を図るためデジタル観光アプリのコンテンツを作成する。											
事業開始時期				事業終了時期		予算計上時期①		予算種別①	予算計上時期②		予算種別②	予算計上時期③		予算種別③	
2026 年 6 月				2027 年 3 月		2026 年 3 月		当初	2026 年 9 月		補正	年 月			
交付対象事業経費				101,326千円											
建築物整備経費		0千円		設備整備・用地造成等経費		99,961千円		備品経費		1,265千円		効果促進事業(ソフト事業)経費		100千円	
建築物整備の内容													要素事業数		
区分	整備内容の説明					金額(千円)		経費内訳							
						全体	対象								
						0	0								
関連するKPI															
(2-3)⑧に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額															
全体事業費															
交付対象事業費															
小計						0	0								
設備整備・用地造成等の内容													要素事業数		1
区分	整備内容の説明					金額(千円)		経費内訳							
						全体	対象								
設備整備	【設備等名称】 豊田市棒の手会館(常設展示室、ホール) 【整備内容】 関係人口を増やすためには、まずは猿投地区への来訪者を増やし、地区の多様な魅力に触れ、興味関心を持ってもらう必要がある。 そのため、棒の手会館の展示内容を全面的に刷新し、デジタル技術を活用した体験型展示を導入することで、伝統芸能を身近に楽しく学べる展示へと刷新する。情報発信ブースを新設し、棒の手と関連の深い猿投神社や旧龍性院庭園などの情報を集約し回遊を促す。また、駐車場から棒の手会館への導線を改善し登山客を館内へと誘導する。 契約見込み日:令和8年6月 令和9年3月リニューアルオープン予定					99,961	99,961	【棒の手会館展示室リニューアル整備委託】99,961千円 ・既存解体撤去費 5,046千円(うち、交付対象事業経費 5,046千円) ・展示制作費 65,433千円(うち、交付対象事業経費 65,433千円) ・管理費等 29,482千円(うち、交付対象事業経費 29,482千円)							
								関連するKPI ①、②、③、④							
								(2-3)⑧に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額							
								全体事業費							
								交付対象事業費							
						0	0								
関連するKPI															
(2-3)⑧に該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額															
全体事業費															
交付対象事業費															
小計						99,961	99,961								

備品整備の内容			要素事業数	1
備品整備の説明	金額(千円)		経費内訳	
	全体	対象		
防犯カメラの設置 展示資料として新たに火縄銃を展示するため、展示室付近に防犯カメラを設置する。 契約見込み日: 令和9年2月	1,265	1,265	【防犯カメラ】 1,265千円 ・防犯カメラ3台 1,265千円(うち、交付対象事業経費 1,265千円) 関連するKPI ①、②、③、④ (2-3)Bに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額 全体事業費 交付対象事業費	
小計	1,265	1,265		
効果促進事業(ソフト事業)の内容			要素事業数	1
効果促進事業(ソフト事業)の説明	金額(千円)		経費内訳	
	全体	対象		
【設備等名称】 豊田市棒の手会館(常設展示室、ホール) 【整備内容】 関係人口を増やすためには、まずは猿投地区への来訪者を増やし、地区の多様な魅力に触れ、興味関心を持ってもらう必要がある。 そのため、棒の手会館の展示内容を全面的に刷新し、デジタル技術を活用した体験型展示を導入することで、伝統芸能を身近に楽しく学べる展示へと刷新する。情報発信ブースを新設し、棒の手と関連の深い猿投神社や旧龍性院庭園などの情報を集約し回遊を促す。また、駐車場から棒の手会館への導線を改善し登山客を館内へと誘導する。 契約見込み日: 令和8年6月 令和9年3月リニューアルオープン予定	100	100	【学識経験者による展示指導】100千円 ・報償費 100千円(うち、交付対象事業経費 100千円) 関連するKPI (2-3)Bに該当する間接補助の場合は以下も記載 ※その他の補助金等を除いた金額 全体事業費 交付対象事業費	
小計	100	100		